

施工主様 施工技術者様へ 下記施工要領を御確認の上、施工お願い致します。

<b>重要</b>	<b>開封放置禁止</b>	ジョイント施工	① 必ず巾おとしする
	※商品確認等で、開封したときは広げたま放置しないで必ず包装して下さい。(ウールが活着している為、色差が発生します。)		② ホツレ止めをする

推奨施工方法 フェルトグリッパー工法



<写真1>

**注意** グリッパーのピンが表に出ることがあります。施工後ピン先処理をして下さい。

グリッパーのピンの長さの選定(Aタイプ推奨)

**注意事項**

この商品は基本的に胴継ぎジョイントはできません。横スジが入り柄が合いません。

織物カーペットの基本的なジョイント方法  
(シーミングテープジョイント前処理)

(A) 巾継ぎジョイント



<写真2>

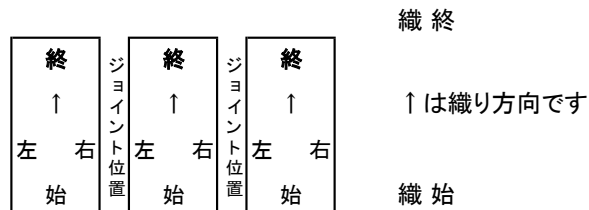
リバース施工

- ・ ジョイント施工の場合の時にジョイント部分の色差が出る場合があります。
- ・ 織りじゅうたんの場合、巾の左右のテンション差が確認されることがあります。
- ・ ジョイント施工時、シーミングテープのアイロンの前にジョイント部分の色差の確認をお願い致します。

※ 施工時には 有効寸法ギリギリまで左右の巾を落としてください。  
 ※もし色差の限度が許容範囲以上と思われた場合  
 同方向ジョイントからリバース施工に変更願います。

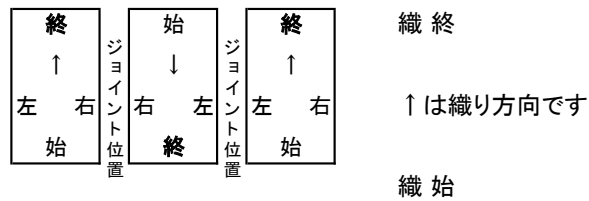
★ 通常の施工 (同方向ジョイント)

織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 左端 右端 ジョイント 右端 左端



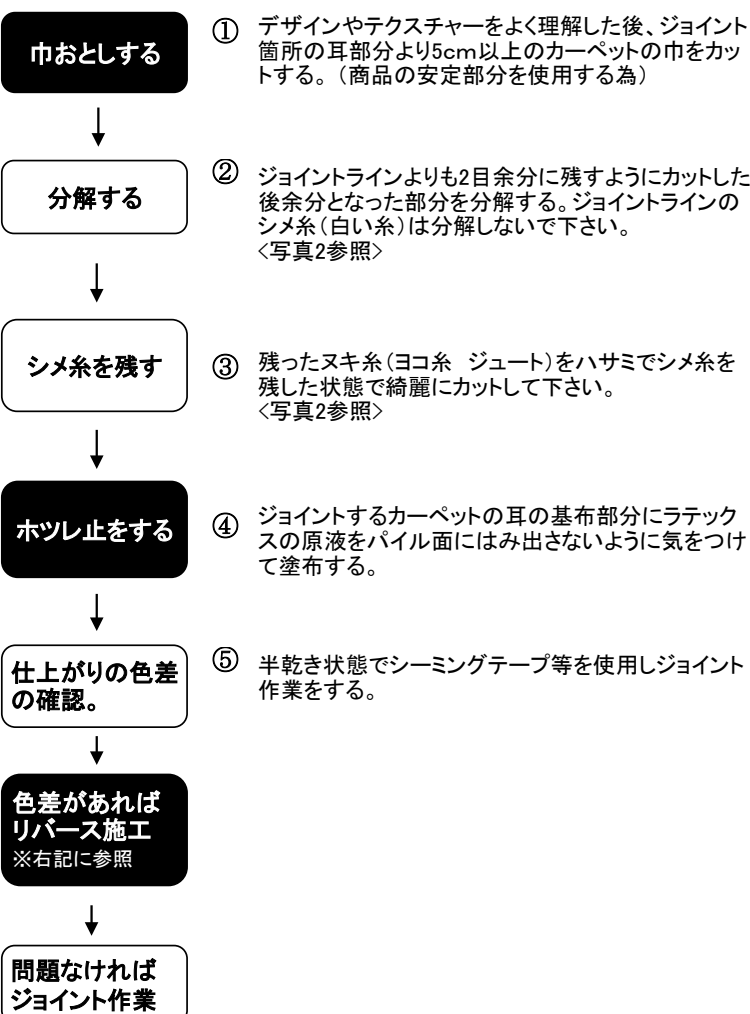
★ リバース施工(逆方向ジョイント)

織り巾に対して 左端 右端 ジョイント 右端 左端 ジョイント 左端 右端



※ リバース施工されるとジョイント部分が 右端右端 左端左端と端同士が同じ部分になり  
 ジョイント部分の色差が通常施工より目立たなくなりました。  
 お手数ですがよろしくお願い致します。  
 尚、リバース施工はループ製品に限ります。カット製品の場合は絶対しないでください。

※ 重要項目なので必読の方、よろしくお願い致します



※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの耳どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。